

第14 感染症対策

1 感染症発生状況

(1) 類別・市別発生状況

令和4年度

	合計	草津市	守山市	栗東市	野洲市
感染症発生合計	42	18	8	10	6
1類感染症合計	-	-	-	-	-
エボラ出血熱・ペスト等	-	-	-	-	-
2類感染症合計	25	11	5	4	5
急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
結核	25	11	5	4	5
ジフテリア	-	-	-	-	-
SARS	-	-	-	-	-
鳥インフルエンザ	-	-	-	-	-
3類感染症合計	17	7	3	6	1
コレラ	-	-	-	-	-
細菌性赤痢	-	-	-	-	-
腸管出血性大腸菌感染症	17	7	3	6	1
腸チフス	-	-	-	-	-
パラチフス	-	-	-	-	-

(2) 発生時の対応(積極的疫学調査の実施)

令和4年度

	合計	草津市	守山市	栗東市	野洲市
感染症対応合計	39	14	9	7	9
1類感染症合計	-	-	-	-	-
エボラ出血熱・ペスト等	-	-	-	-	-
2類感染症合計	27	11	5	5	6
急性灰白髄炎	-	-	-	-	-
結核	27	11	5	5	6
ジフテリア	-	-	-	-	-
SARS	-	-	-	-	-
鳥インフルエンザ	-	-	-	-	-
3類感染症合計	9	2	4	1	2
コレラ	-	-	-	-	-
細菌性赤痢	-	-	-	-	-
腸管出血性大腸菌感染症	9	2	4	1	2
腸チフス	-	-	-	-	-
パラチフス	-	-	-	-	-
4類感染症合計	3	1	-	1	1
日本脳炎	-	-	-	-	-
レジオネラ症	3	1	-	1	1
5類感染症合計	-	-	-	-	-
麻しん	-	-	-	-	-
風しん	-	-	-	-	-

2 特定感染症対策

当所では、昭和62年度から毎週、HIV抗原抗体検査を開始しました。

平成5年度からは、検査時にカウンセラーを配置し、相談体制の強化をはかりました。

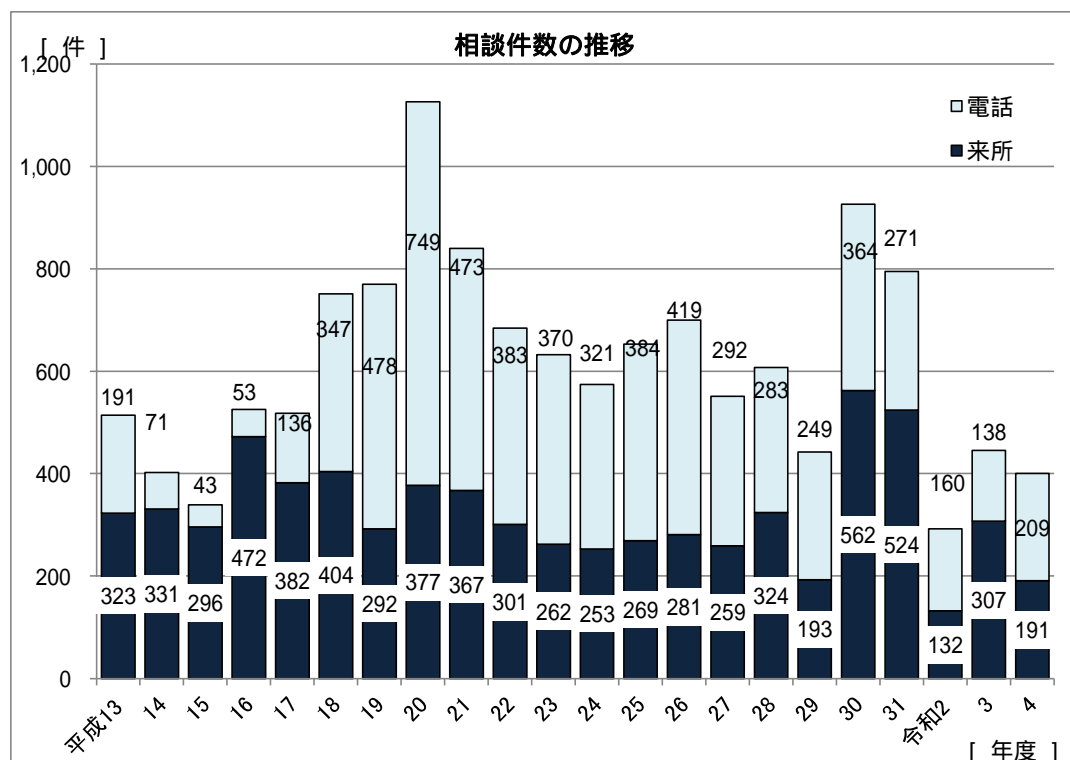
平成18年8月からは、HIV抗体検査、平成19年10月からは梅毒・肝炎ウイルス(B型・C型)の即日検査を導入し、毎月2回開催しています。

平成21年10月からは県下全保健所にて、即日検査が導入されています。

(1) エイズ予防対策

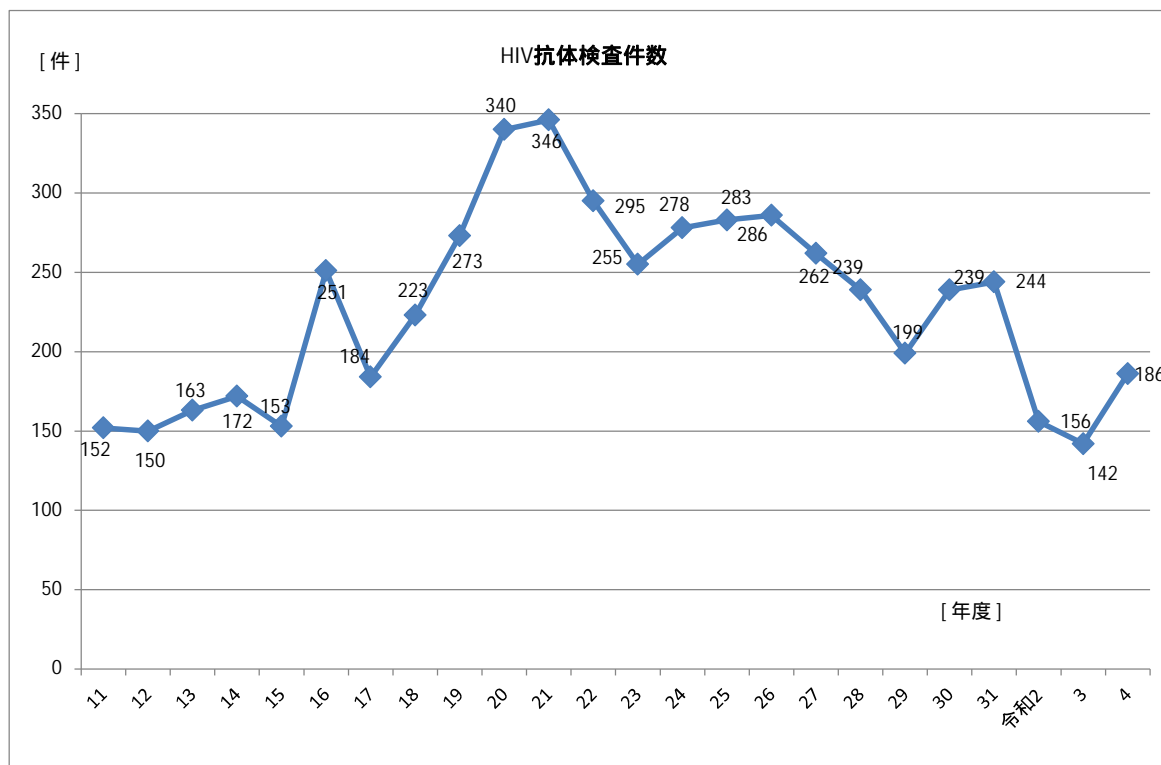
エイズ相談実施状況

区分	合計	検査時		来所	電話	
		検査前	検査後			
相談延人員	574	186	179	5	204	
相談内容延件数	757	279	261	8	209	
相談内容延件数	症 状	73	35	20	1	17
	検 査	404	165	45	5	189
	感 染 経 路	99	60	37	1	1
	予 防 方 法	153	12	141	-	-
	患 者 発 生 状 況	4	2	2	-	-
	そ の 他	24	5	16	1	2



エイズ抗体検査件数(男女別・年齢別)

年 齢	～ 1 9	2 0 ～ 2 9	3 0 ～ 3 9	4 0 ～ 4 9	5 0 ～	計
計	4	67	55	27	33	186



エイズ啓発活動

ア 啓発事業

・世界エイズデーにおける拡大検査

令和4年12月14日

イ 研修会等

令和4年度は実施せず。

(2)梅毒検査

梅毒検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～	計
計	4	67	55	27	32	185

(3)肝炎ウイルス検査

HCV抗体検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～	計
計	4	68	56	25	33	186

HBs抗原検査件数(男女別・年齢別)

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～	計
計	4	68	57	26	33	188

3 その他

(1) 肝炎治療特別促進事業(インターフェロンフリー・インターフェロン・核酸アナログ製剤治療助成制度)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

申請等総数	新規・更新	延長申請	償還払い	変更・転入	再交付・返還	取下げ
230	220	0	3	7	0	0

(2) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

申請等総数	新規	更新	返還
1	0	1	0

(3) 血液製剤(フィブリノゲン製剤)使用公表に伴う相談

相談内容の内訳

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

患者(元患者、C型肝炎患者等(身内含む))													医療機関			総数							
医療機関がリストに掲載されているか	過去に出産や手術等をしたが大丈夫か	投与の事実の確認、カルテの開示	(フィブリノゲン製剤の投与無し)	輸血を受けたが大丈夫か	肝炎検査は必要か。どこで受けられるか	肝炎検査の費用について	C型肝炎の症状は、治療方法は	肝炎の治療費、医療費助成	母子感染、家族間感染について	国の責任、補償措置(訴訟関係を含む)	フィブリノゲン製剤は何に使用されたか	(感染の原因を知りたい)	(フィブリノゲン製剤の投与以外)	その他	原告団、弁護団を知りたい		救済手続き・認定について	合計	患者への対応の仕方について	医療機関名の公表	その他	合計	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

厚生労働省を通じ平成19年10月に血液製剤の使用に関して再公表(平成16年12月に公表されたフィブリノゲン製剤投与に関するお知らせ)された。
平成20年4月から肝炎治療特別促進事業が開始され、助成制度に関する相談件数が増加した。